

## ボランティアと一緒に作る 患者さんの笑顔



医療法人社団鶴友会 鶴田病院

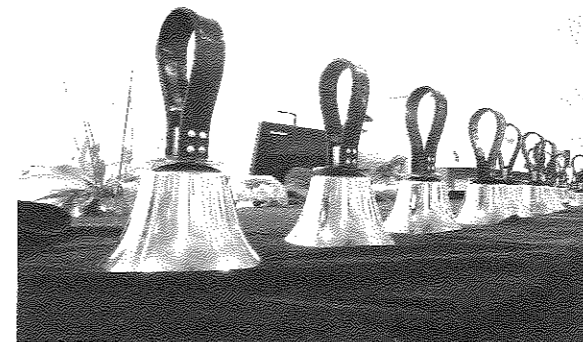
緩和ケア病棟主任看護師 緩和認定看護師 **松岡サヨコ**

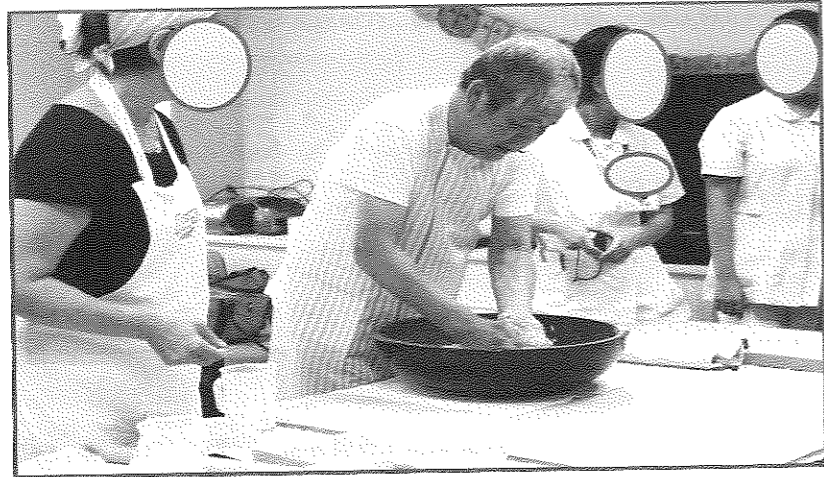
当院の緩和ケア病棟は開設して6年になります。患者さんは病名を告知され、自らの残された時間を知り、痛みや吐き気などのつらい症状とともに不安な気持ちで療養されています。私たちは、そのようなつらい状態にある患者さんに寄り添い、その方の歴史に触れながら個々に関わり、症状が少しでも緩和できるようにつとめています。患者さんのお世話には、当施設の開設当初からボランティアに参加して頂いています。貴重な時間を多くの患者さん家族と過ごす事ができていることに感謝しております。病棟では、日常の喫茶や音楽の提供を主にいろいろなイベントがあり、また季節に応じた催し物を計画し、患者さんやご家族が楽しめる様な時間を設けています。

そんな中で、いろいろなスキルを持ったボランティアの関わる内容はとてもバラエティーに富んでいます。日常では、喫茶や傾聴をはじめとして日本舞踊やコーラス、楽器の演奏などがあります。地域性から阿蘇の「そばうち」に来ていただいたことも有ります。また、毎年12月のクリスマスの時期にはハンドベルの演奏があります。患者さんやご家族

は、その楽しい時間に日頃の辛い症状も忘れ、懐かしいころに戻り想い出話に花が咲きます。患者さんは勿論のこと、ご家族や医療者の私たちもみんなが笑顔になります。患者さんとそのご家族にとっても、ボランティアとの交流は無くてはならないやすらぎの時間となっているのです。音楽を楽しみにされている患者さんも多くおられ、オカリナの演奏では懐かしい唱歌があり、患者さんのリクエストに応じてお部屋でも演奏して頂くことがあります。日ごろの生活をベッドの上だけで過ごす方もおられますが、知っている音楽が流れると、歌を口ずさんだり穏やかな笑顔をされます。またギターの演奏にも来ていただきました。以前このような事がありました。入院される前にギターを趣味にしていた患者さんがおられ、毎週こられるギターのボランティアを何時も心待ちにして自室に来てほしいと申し出がありました。かろうじて動く自分の腕に、使い慣れたギターを抱えボランティアと一緒に演奏されていました。その時の患者さんの表情が、キラキラと輝いていたことは今でも忘れられません。喫茶でのかき氷やコーヒーは特に好評で、面会に来られた方と一緒に食されたり、楽しみにしておられます。食事が入らなくなった患者さんも、イチゴやメロンなどのカラフルな蜜がかかった冷たい氷は「おいしい」と言っておかわりをされる方もいます。コーヒーの香りを楽しみながら新聞を読まれるなど、時がゆっくりとながれていきます。まるで自宅でくつろいでおられるようです。

医療者は、患者さんに対応しながらも業務に追われることも多々有りますが、ボランティアの関わり





は、一人一人の患者さんがその人らしく過ごすひとときになっています。また、多くの患者さんと関わる事でボランティアにも、気持ちの変化があり、楽器を奏でる音色が優しくなったりします。何かをお手伝いすることで、患者さんから感謝の言葉を頂き、いろいろな方の人生にふれて、生き方を学ぶ一

期一会の場となっています。これからも、目の前にいる患者さんのために、私たちが今できることは何かを考え、ボランティアの皆さんと一緒に患者さんの笑顔をみることができるようにつとめていきたいと思っています。

